

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援ベルテール富士吉田園		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動場所が広く、活動用具も豊富で様々な活動を行うことができる。	活動内容が画一的にならないよう、職員が情報収集を行い、支援の目的を踏まえた活動を実施している。	継続して情報収集を行う。
2	相談員さんや保護者、他事業所との定期的なモニタリング会議を実施しているので連携が取れている。	会議には積極的に参加し、児童の様子を職員間で事前に話し合い情報共有をして会議に参加している。 会議後家庭の様子・他事業所の様子をフィードバックし支援に繋げている。	今後は就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有をしていきたい。
3	ICT化の導入により、業務の効率化と職員の業務負担が軽減されている。	ICT機器を積極的に活用し、記録業務の簡素化や情報共有の効率化を行っている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置は適切だが児童の特性を考慮すると職員が足りない。	給与が低いことから職員のモチベーションの維持が難しく、離職率が高い。	定期的な面談を実施し、業務上の悩みや課題を共有する機会を設ける。
2	冬は寒く夏は暑い。 お湯がでないので児童の手洗いが雑になっている。 駐車場が少なく一度に多くの保護者に来園してもらうことが難しい。	建物が古い。 冷房・暖房器具や加湿器を導入し環境整備をしているが予算の関係上限界がある。	優先順位を決め1年間で一か所など少しずつ改善していく。
3	加算の算定要件や内容について、職員間で理解度に差がある。	加算制度に関する情報共有や学習の機会が限られており、職員個々での理解に委ねられている。	定期的に勉強会を行い、加算制度への理解を深めていく。